



# 園だより

9月号

令和3年9月6日  
駿河台大学第一幼稚園  
園長 田所 恒子

## 安全と学びを保障するために

デルタ株の急激な感染拡大に伴い、感染予防のため、夏季保育中止、夏季休業日延長、さらにそれに伴う預かり保育中止などを保護者の皆様にご協力お願いいたしました。急なお願いにもかかわらずご理解・ご協力をいただき本当にありがとうございました。

例年この時期は、先生や友達と一緒に運動会の練習をしたり、夏季休業中の楽しかった思い出を話したりする元気な子どもたちの姿が見られ、楽しそうな声が幼稚園に響いています。しかし、今年はその姿が見られず、静かな幼稚園です。テレビをつけると、新学期開始に伴い学校や園での感染が広がるのではと、不安にかられる報道がされています。本園では今、13日からの二学期が安全で確かな学びをもたらす充実した保育となるように、対策や保育や行事の見直しを行っています。

その一つとして、二学期開始に向けて、6日から10日の間に担任から子どもたちと保護者の皆様にご電話をおかけいたします。子どもたちにとって2ヶ月ぶりとなる幼稚園生活は期待と共に不安も大きいと思います。そこで、担任から「待ってるよ」と声をかけさせていただきます。担任も子どもたちと話ができることを楽しみにしています。保護者の方には、子どもたちの様子やお悩みをお話しいただければと思います。

また、食事の飛沫が感染の要因として大きいため、17日までを午前保育としました。21日以降は、新たに購入した衝立を使用して感染予防を強化して食事をします。また、9月中の遠足では、目的地で食事をせずに、園に帰って机に座って食べることにします。

さらに、敬老の日のプレゼントを見直しました。今年は二学期開始から敬老の日まで一週間と短く、そのうえ午前保育です。この期間は、子どもたちが二学期の生活を取り戻すための貴重な時間です。しかし、コロナ禍でなかなか祖父母の方と会えない今だからこそ、祖父母を思い、敬う気持ちを育てていくことが大切になると考えました。そこで、幼稚園で遊ぶ様子を写真に撮ってプレゼントさせていただこうと思います。遊びの様子のため、お孫さんだけでなく友達も写ります。お手数でも、個人情報として大切に扱っていただきますようお願いください。

そして、運動会は、25日に予定通り行います。年少児は、先生や友達と一緒に身体を動かす楽しさを。年中児は、自分の力を出しながら学級の友達と一緒に楽しむ楽しさを。そして、年長児は友達と一緒に目的に向かって力を合わせて頑張る楽しさを味わわせていきます。今年は、密を避けるため、第一部を年少児、第二部を年中・長児と2回に分けます。年中・長児と一緒にするのは、年長児の姿を見て憧れ、モデルとなる存在をもつことが、年中児の育ちにとっても重要だからです。また、そんな年中児の存在は、年長児にとっても自信や自己有用感につながります。大勢の人が集まる運動会では、感染の予防に向けて保護者の皆様にご理解・ご協力いただくことがたくさんあります。例年と比べ制約の多い運動会となりますが、感染予防のためご協力ください。

長く続くコロナ禍において、保護者の皆様のご不安やご心配も大きいことでしょう。ご心配なことや疑問がありましたら、いつでもご相談ください。



長い夏季休業日の間に季節が進み、園庭の栽培物の生育も進みました。年長児が育てているポップコーンもしっかり実り子どもたちを待っています。



虫の音が聞かれる季節となりました。園庭に作った雑草園のエノコログサが生い茂っています。バッタやコオロギが集まるのではと楽しみです。



食事の衝立を新たにしました。衝立で一人ひとりのスペースを確保できます。正面だけでなく、横からの飛沫も防ぎ、より安全に食事ができます。



上の写真は机を四分割する様子分かるように、シールを貼った状態で撮ったものです。実際はシールを剥がして透明な状態で使用し、友達の顔を見ながら楽しく食事ができます。